

平成30年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 都立町田工業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成 教諭2名 学校経営支援員 計3名

(3) 内部委員の構成

・校長 ・副校長 ・経営企画室長 ・主幹教諭（教務担当）

・主幹教諭（生徒指導担当） ・主幹教諭（進路指導担当） ・主幹教諭（学年担当）

・主任教諭（総合情報科担当） ・主幹教諭（保健部） 計9名

(4) 協議委員の構成

康井義明（大学教育代表） 高野昭子（地域住民代表） 中光陽子（本校PTA会長）

松山 茂（本校同窓会会長） 橋本顕嗣（近隣中学校代表） 小澤智幸（近隣小学校代表）

計6名

2 平成30年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1回～3回）の開催日、出席者、内容、その他

①第1回 平成30年6月8日（金） 内部委員8名、協議委員5名

校長挨拶、協議委員及び評価委員委嘱・紹介、内部委員紹介

本校の現状と課題（学校経営報告、学校経営方針、各分掌からの説明）、意見交換

②第2回 平成30年11月17日（金） 内部委員7名、協議委員4名

今年度業務の進捗状況について（各分掌からの中間報告）

平成30年度学校評価アンケートの内容について、意見交換

③第3回 平成31年2月1日（金） 内部委員9名、協議委員3名

校長挨拶、今年度の成果と課題について（各分掌からの報告）、資格取得状況

平成30年度学校評価アンケート集計結果について、意見交換

(2) 学校評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

①第1回 平成30年11月17日（金） 内部委員7名、協議委員4名

学校評価の基本方針、内容、実施日程などについて協議

②第2回 平成31年2月2日（金） 内部委員9名、協議委員3名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、提言の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月 全校生徒 対象：488人 回収率：89.8%

・12月 保護者全員 対象：488人 回収率：75.2%

・12月 教職員 対象：62人 回収率：98.4%（1名長欠）

(3) 主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、部活動、健康・安全、施設・設備、教職員の意識等

(4) 評価結果の概要

全体的に昨年と比較して数値的に若干の違いはあるが、同様な傾向が表れた。しかし、一部の評価で課題となる結果も得られた。詳細については、以下に述べる。

(%横の矢印について、↑：昨年度より上昇、→：昨年度とほぼ同様、↓：昨年度より下降)

- ・生徒の学校生活への満足度に関しては、教職員 77%↑、保護者 82%↑、1 学年生徒 75%→、2 学年生徒 74%↑、3 学年生徒 61%↓が「満足している（やや満足しているも含む）」という回答であった。生徒の学校生活への満足度は全体的に上昇した。
- ・生徒、保護者、教職員とも約 82%→が、総合情報科の特徴を理解していた。
- ・生徒の 79%→、保護者の 77%↑、教職員の 79%→が本校の生徒指導の方針を理解し、生徒の規範意識を高める指導を行っているという回答していた。
- ・教職員に気軽に相談できると答えた生徒は 58%→となっていた。保護者は 51%→、教職員は 61%→であった。昨年度と同様の結果であった。
- ・施設・設備を初め、学習環境には生徒 87%→、保護者 86%↑、教職員 79%→と、概ね満足していた。
- ・社会のルールやマナーについては、おおむね生徒・保護者とも肯定的である。
- ・今回からのアンケートである、教員のライフワークバランスについては、教職員の満足度 38%、保護者から見た満足度 38%であった。

(5) 評価結果の分析・考察

- ・学校生活全般に対する生徒の満足度は、3 学年だけが下がったが、低学年が上昇し全体的には微増であり、本校の指導が自分自身のためになっていることを、学校生活を送る中で生徒自身が理解している現われであると考ええる。
- ・いじめ防止については、教員側は対応が十分であるという回答が 83%と高いが、「そうは言えない・心配である」という回答が生徒で 30%、保護者で 50%と隔たりが見受けられる。いじめに対してはどんなに小さなことであっても徹底した対策が必要である
- ・保護者から、学校生活の様子が家庭に十分に伝わってこないとの意見が出された。学校は、保護者に対しての連絡方法を工夫すべきと考ええる。
- ・学校行事について、体育祭・文化祭の盛り上がりや生徒の活気ある姿を評価する保護者の意見があり、生徒の自主的な活動を重んじる指導の成果が出てきたと考える。
- ・教員に悩みを相談することについて、生徒 64%↑・保護者 56%↑と肯定的な回答をしている。特に昨年度生徒 47%からの大幅な増であり、生徒・保護者が教員に悩みを相談し易くなってきたと考えられる。更に生徒・保護者との信頼関係を築いていくことが必要である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・環境改善、授業改善等、本校の教育活動に関する課題が明確になった。
- ・積極的な地域連携の必要性が明らかとなり、次年度に向け検討すべき課題となった。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・総合情報科のみの工業高校としての在り方を追求すること。
- ・情報セキュリティ・個人情報保護教育をより充実させる必要がある。特に、SNSのしくみについて生徒・保護者に理解徹底を図り、正しい利用方法とともに危険性についても指導を徹底していく必要がある。
- ・「読み・書き・そろばん」といった国語、数学などの基礎・基本を重視した指導内容・方法を導入すること。
- ・生活指導の厳しさ、生徒に自信を付けさせる指導、人と人との繋がりを大切にする指導及び校内清掃活動の徹底等、町田工業高校の良さを前面に出す広報活動を行うこと。
- ・自転車による事故が多発しており、交通安全指導をより徹底する必要がある。
- ・資格取得の重要性を生徒にさらに伝えていくこと。また、同時に保護者への周知も強化す

ること。

- ・生徒にしっかりとした挨拶ができるよう指導を徹底させ、日頃の生活態度の重要性に気付かせるとともに、「身に付けさせる規律・規範」を高める指導を継続的に行っていくこと。
- ・ディベート力、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を高める教育を実践すること。
- ・人材面を主に教育資源の発掘及び整理が必要なこと。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・ホームページの定期的なコンテンツ変更など、積極的な広報活動をする。
- ・学校の取り組むべき課題について組織的な対応の在り方を検討する。

(2) 学習指導

- ・学力向上推進委員会を中心に、学力スタンダード・技能スタンダードを推進していく。
- ・保護者や中学生だけでなく、小学生や近隣地域にも授業公開を広報し、授業の公開度を高めることで教員の意識改革を行なう。
- ・設備拠点校実習において、他校の施設及び設備を活用することで、工業に係る技能・技術のさらなる習得を図る。
- ・資格・検定の受験をさらに促進させ、取得につなげていく。

(3) 特別活動

- ・文化祭の出店内容を見直し、改善などを行い本校としての特色を生かせるものとする。
- ・部活動加入率を高め、部活動の活性化をさらに図る。

(4) 生活指導

- ・生徒が安心して学習活動に専念できるよう、生活指導を徹底する。
- ・生徒が学習活動や特別活動等に専念できるよう、学習環境の維持管理に努める。
- ・教員相互の情報交換を図り、互いの信頼関係を基礎とした指導を実践する。

(5) 進路指導

- ・入学時からの計画的なキャリア教育を行い、ミスマッチのない生徒の進路実現に努める。
- ・女子生徒及びデザイン系列生徒の就職先の開拓及び確保に努める。
- ・インターンシップへの参加生徒をさらに増やし、より実践的な進路指導に努める。
- ・今年度、多くの教員による企業訪問に取り組んだ結果、教員の意識改革やキャリア教育の改善につながったことから、次年度以降も継続する方向で取り組む。

(6) 健康・安全

- ・学校保健計画を整備し、計画的・系統的な健康指導の体制を確立する。
- ・スクールカウンセラーを活用し、生徒の精神面でのサポート体制を構築する。
- ・産業医の助言のもと学習環境の適切な管理を行う。
- ・教員のライフワークバランスについては、教職員の働き方について恒常的に検証し、改善できることは速やかに実行し、より整えていく

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 6名

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	わからない	無回答
3	1	1			

* 1名は諸事情により未回収

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

平成30年度の参加実績はない。

8 その他

- ・アンケート項目の更新、見直しを行い、また、集計にもマークシートを用いるなど、作業の効率化を図った。
- ・生徒、保護者のアンケート回収率を可能な限り100%に近づけていく。

以上